

事務連絡  
令和5年9月8日

各都道府県教育委員会指導事務主管課  
各指定都市教育委員会指導事務主管課  
各都道府県私立学校事務主管課  
附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務主管課  
附属学校を置く各公立大学法人附属学校事務主管課

御中

文部科学省初等中等教育局教育課程課

### 令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会の開催について（依頼）

文部科学省では、学習指導要領の趣旨の実現に資するため、標記研究協議会を実施要項（別添1）のとおり開催します。

標記研究協議会に係る提出資料等については、下記のとおりとします。

なお、今回の研究協議会より、学習指導要領の内容の一層の周知促進を図ることとしたため、文部科学省の行政説明については、市町村教育委員会も視聴することができます。各都道府県教育委員会におかれましては、域内の市町村教育委員会に対し、この旨を周知し、積極的な視聴について依頼してください。

### 記

#### 1 提出資料

##### (1) 参加者名簿及びオンデマンド配信視聴希望申請書

本協議会への参加者及びオンデマンド配信視聴希望について、別添1及び別添3を確認の上、別紙様式1により提出すること。

##### (2) 教育課程に関する質問事項及び考え方

質問事項がある場合は、別添4を確認の上、別紙様式2により教育課程に関する質問事項及び都道府縣市等としての考え方を付して提出すること。

※質問事項がない場合には、提出は不要。

##### (3) 各部会における提出資料

別添5及び別添6を確認の上、部会ごとに必要な資料を作成し、提出すること。

#### 2 提出期限

##### (1) 参加者名簿及びオンデマンド配信視聴希望申請書【別紙様式1】…9月22日（金）

##### (2) 教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式2】…9月22日（金）

##### (3) 各部会における提出資料【別紙様式3～8、その他提出資料】…10月19日（木）

※提出期限までに提出が困難な場合は、事前に連絡すること。

### 3 提出方法

1の提出資料について、それぞれ下表の左欄の参加者の区分に応じ、右欄の者において取りまとめて提出すること。

なお、1(3)の「各部会における提出資料」については、別途の指定がない限り、協議ごとと一つのpdfファイル(例：国語部会の協議①の提出資料で一つのpdfファイル、同部会の協議②の提出資料で一つのpdfファイル等)にまとめて提出すること。(※詳細は別添3～5を参照のこと)

参加者の区分	とりまとめ
各都道府県・指定都市教育委員会	各都道府県・指定都市教育委員会
国立・公立大学法人附属学校	附属学校を置く各国公立大学法人
都道府県私立学校担当部局、都道府県私立学校協会及び私立学校等	各都道府県私立学校担当部局

### 4 提出先

- (1) 参加者名簿及びオンデマンド配信視聴希望申請書【別紙様式1】、(2) 教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式2】

教育課程課教育課程第三係(kyoiku3@mext.go.jp)宛てに電子メールで提出すること。その際、電子メールの件名は、「都道府県・指定都市番号【〇〇県(公)、〇〇市(公)、〇〇大(国)、〇〇大(公)、〇〇県(私)】高校協議会」とする。

(北海道教育委員会の例：01【北海道(公)】高校協議会)

- (3) 各部会における提出資料【別紙様式3～8、その他提出資料】

クラウドストレージサービス「Box」内の各部会フォルダに提出し、全ての部会の資料提出が完了次第、その旨を教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで報告すること。ただし、「Box」内への提出ができない場合は、ファイルを直接教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで提出すること。

※クラウドストレージサービス「Box」のURL等については、別添5を参照すること。

### 5 資料について

- (1) 各部会資料等は、文部科学省より各部会開催の1週間前までに参加者に電子メールにて送付する予定である。参集する者に対しては部会当日に紙媒体の配布は行わないので留意すること。
- (2) (1)の電子メールが各部会開催の1週間前までに届かない場合には、教育課程課教育課程第三係に問い合わせること。

#### 【本件担当】

文部科学省初等中等教育局教育課程課  
教育課程第三係(山本、林)

電話：03-5253-4111(内線3706)

電子メールアドレス：kyoiku3@mext.go.jp

## 令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会 実施要項

### 1 目的

高等学校学習指導要領の趣旨の実現を目指し、教育課程の編成及び実施上の諸問題に関する研究協議、情報交換等を行い、もって高等学校における教育課程の適切な実施を図ることを目的とする。

### 2 主催

文部科学省

### 3 共催

国立教育政策研究所

### 4 部会構成

次の16部会とする。

「総則」「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「理数」「保健体育」「芸術（音楽）」  
「芸術（美術、工芸）」「芸術（書道）」「外国語」「家庭」「情報」「総合的な探究の時間」  
「特別活動」

※主として専門学科において開設される教科のうち、理数、体育、音楽、美術、英語については、本協議会の関連する部会において取り扱う。

※「国語」部会及び「地理歴史」部会は、29日午後～30日の1.5日間開催。「総合的な探究の時間」部会は、21日午後～22日の1.5日開催。

※「総合的な探究の時間」部会は、一部日程で「小中・総合的な学習の時間」部会と合同で開催する。

※「情報」部会は職業に関する教科の「情報」部会と合同開催とする。

### 5 期日

11月15日（水）	「総則」「外国語」
11月21日（火）	「総合的な探究の時間」
11月22日（水）	「総合的な探究の時間」「保健体育」
11月24日（金）	「芸術（書道）」「特別活動」
11月27日（月）	「理科」「芸術（美術・工芸）」「家庭」
11月28日（火）	「公民」「理数」「芸術（音楽）」
11月29日（水）	「国語」「地理歴史」「数学」
11月30日（木）	「国語」「地理歴史」「情報」

### 6 日程

9:30	10:00	12:00	13:00	15:30	16:00
受付	部会①	休憩	部会②	講評	

※日程の詳細については、部会ごとに異なる。

## 7 開催方法

Zoom を使用し、ハイブリッド形式（参加者が会場への参集又はオンラインでの参加を選択する形式）により開催する。

## 8 会場

独立行政法人国立青少年教育振興機構国立オリンピック記念青少年総合センター  
（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

総 則	11月15日（水） センター棟416	芸 術 （音楽）	11月28日（火） センター棟310
国 語	11月29日（水） 11月30日（木） センター棟310	芸 術 （美術、工芸）	11月27日（月） センター棟310
地 理 歴 史	11月29日（水） 11月30日（木） センター棟311	芸 術 （書道）	11月24日（金） センター棟310
公 民	11月28日（火） センター棟311	外 国 語	11月15日（水） センター棟311
数 学	11月29日（水） センター棟309	家 庭	11月27日（月） センター棟311
理 科	11月27日（月） センター棟309	情 報	11月30日（木） センター棟102
理 数	11月28日（火） センター棟309	総合的な 探究の時間	11月21日（火） 11月22日（水） センター棟101
保 健 体 育	11月22日（水） センター棟310	特 別 活 動	11月24日（金） センター棟311

※会場の所在地、連絡先、案内図等については、別添2を参照のこと。

## 9 参加者

### (1)対象者

#### ①都道府県・指定都市教育委員会

各都道府県・指定都市において下記の者から選出することとする。

- i) 各都道府県・指定都市教育委員会の各教科等担当指導主事
- ii) 各都道府県・指定都市において指導的立場にある教員のうち、都道府県又は指定都市教育委員会の推薦する者

#### ②国立・公立大学法人附属学校

参加を希望する国立・公立大学法人附属学校の校長、教頭又は教員

#### ③都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等

参加を希望する都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等の担当者

※ 本協議会は、各都道府県・指定都市教育委員会の指導主事を主な参加者として念頭においたものであり、協議内容も指導主事としての立場を踏まえた内容とする予定である。国立・公立大学法人附属学校及び都道府県私立学校担当部局、私立学校協会、私立学校等におかれては、そのような位置付けの協議会であることを理解の上、参加の可否を検討されたい。

### (2)人数

参加者として登録する者（協議に参加し、発言する者）については、上記(1)①～③の区分ごとに原則以下の通りとし、参加者は参加方法（参集又はオンライン）を選択すること。

- ・ 1部会につき1名とする。
- ・ 特段の事情により参加者を上記人数より増やしたい希望がある場合は、参加者登録の際に別途相談すること。
- ・ 指定都市教育委員会においては、本協議会への参加にあたり個別の事情がある場合は、別途相談すること。
- ・ 諸事情により、参加者の出席が叶わなくなった場合は、代理参加者を選定し、速やかに教育課程課教育課程第三係に報告すること。

## 10 各部会における行政説明のオンデマンド配信視聴について

### (1)対象者

- ①各都道府県・指定都市教育委員会の指導主事等
  - ②国立・公立大学法人附属学校の校長、教頭又は教員
  - ③都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等の担当者
  - ④市町村教育委員会の指導主事
- ※①②③の各都道府県・指定都市教育委員会等においては、参加者以外の者が、オンデマンド配信の視聴を希望する場合は、(3)の方法により申請すること。
- ※各都道府県教育委員会は、域内の市町村教育委員会に対して周知すること。

### (2)配信内容の範囲及び配信方法

全ての部会において、文部科学省による行政説明の部分について、後日オンデマンド配信を行う。各部会終了後、1～2週間以内に順次文部科学省 **youtube** サイトに限定公開かつ期間限定（1か月程度）で動画を掲載する予定である。掲載後、**youtube** リンク等の視聴方法を(3)により申請のあった各都道府県・指定都市教育委員会等に送付する。申請のあった市町村教育委員会に対しては、各都道府県教育委員会を通じて上記リンク等を連絡することとする。

### (3)申請にあたっての留意事項

- ・(1)①②③の各都道府県・指定都市教育委員会等は、視聴希望のある場合、別紙様式1により申請すること。
- ・(1)④市町村教育委員会の視聴希望は、各都道府県教育委員会がとりまとめて申請すること。

令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会  
会場所在地・連絡先・案内図

○国立オリンピック記念青少年総合センター

住 所：東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL：03-3469-2525

<最寄り駅から>

- ・小田急線

参宮橋駅下車 徒歩約7分

- ・地下鉄千代田線

代々木公園駅下車(代々木公園方面4番出口)

徒歩約10分

<京王バス>

- ・新宿駅西口(16番)より

代々木5丁目下車

- ・渋谷駅西口(40番)より

代々木5丁目下車



## 参加者名簿及びオンデマンド配信視聴希望申請書【別紙様式1】の 作成及び提出方法について

### 1-1 参加者名簿の作成について

以下の①～⑨の要領で作成すること。

- ① 1列目には都道府県・指定都市番号を半角数字で、2列目には都道府県・指定都市名を記入すること。いずれも参加者全員について記入することとし、空白や「/」などとほしないこと。「都」「道」「府」「県」「市」は省略しないこと。
- ② 3列目にはドロップダウンリストから国立、公立、私立を選択すること。
- ③ 4列目には氏名を、5列目にはふりがなを、6列目には所属及び職名を記入すること。姓と名の間及び所属と職名の間は全角で1文字空けること。
- ④ 7列目には指導主事として従事した通算年数を記入すること。
- ⑤ 8列目には日常の業務で担当している校種及び教科等を記入すること。
- ⑥ 9列目にはドロップダウンリストから部会名を選択して記入すること。後日、部会ごとの参加者名簿を作成するため、部会名については必ずドロップダウンリストから選択し、誤りがないよう記入すること。
- ⑦ 10列目にはドロップダウンリストから参加方法を選択して記入すること。
- ⑧ 11列目には参加者本人に連絡可能なメールアドレスを記入すること。後日、このメールアドレスに部会ごとの資料等を電子データで送付するので、必ず参加者本人に連絡できるメールアドレスを記入すること。
- ⑨ 12列目には特記事項があれば記入すること。  
※理科部会参加者のみ、各自の専門科目（物理、化学、生物、地学の別）を記入すること。

#### <留意事項>

- 外字は使用しないこと。代替可能な文字がない場合は、メールで送信するファイルでは当該文字を「?」とし、併せてPDF化した名簿をメールで送信すること。
- 文字のセンタリングや均等割付、罫線等の装飾は行わないこと。

### 1-2 オンデマンド配信視聴希望申請書の作成について

以下の①～③の要領で作成すること。

- ① 「オンデマンド配信視聴希望」の欄に、ドロップダウンリストから○又は×を選択し記入すること。
- ② 「主な視聴希望者」の欄に、ドロップダウンリストから選択し記入すること。
- ③ ②において「市町村教育委員会」又は「都道府県教育委員会＋市町村教育委員会」を選択した場合は、「視聴を希望する市町村教育委員会数／管内の高等学校を設置する市町村数」の欄に、視聴を希望する市町村教育委員会数（A）、管内の高等学校を設置する市町村数（B）を、（A）／（B）の形式で記入すること。なお、視聴希望数が確定していない場合は、見込みの数を記入すること。

#### <留意事項>

- 市町村教育委員会の視聴希望は、各都道府県が取りまとめて申請すること。

## 2 提出方法について

教育課程課教育課程第三係 (koyoiku3@mext.go.jp) 宛てに電子メールで提出すること。

○ 添付ファイル名については、以下のとおりとする。

・ 都道府県・指定都市教育委員会の場合

**都道府県・指定都市番号【都道府縣市名(公)】高校協議会参加者名簿**

<記入例>01【北海道(公)】高校協議会参加者名簿

・ 国立・公立大学法人附属学校の場合

**都道府県・指定都市番号【大学名(国・公)】高校協議会参加者名簿**

<記入例>10【群馬大(国)】高校協議会参加者名簿

・ 都道府県私立学校担当部局等の場合

**都道府県・指定都市番号【都道府県名(私)】高校協議会参加者名簿**

<記入例>20【長野県(私)】高校協議会参加者名簿

## 3 その他

○ 都道府県・指定都市番号について

01 北海道	02 青森県	03 岩手県	04 宮城県
05 秋田県	06 山形県	07 福島県	08 茨城県
09 栃木県	10 群馬県	11 埼玉県	12 千葉県
13 東京都	14 神奈川県	15 新潟県	16 富山県
17 石川県	18 福井県	19 山梨県	20 長野県
21 岐阜県	22 静岡県	23 愛知県	24 三重県
25 滋賀県	26 京都府	27 大阪府	28 兵庫県
29 奈良県	30 和歌山県	31 鳥取県	32 島根県
33 岡山県	34 広島県	35 山口県	36 徳島県
37 香川県	38 愛媛県	39 高知県	40 福岡県
41 佐賀県	42 長崎県	43 熊本県	44 大分県
45 宮崎県	46 鹿児島県	47 沖縄県	48 札幌市
49 仙台市	50 さいたま市	51 千葉市	52 川崎市
53 横浜市	54 相模原市	55 新潟市	56 静岡市
57 浜松市	58 名古屋市	59 京都市	60 大阪市
61 堺市	62 神戸市	63 岡山市	64 広島市
65 北九州市	66 福岡市	67 熊本市	

※ 国公立大学法人については、事務局本部が所在する都道府県番号を使用するものとする。

## 教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式2】 の作成及び提出方法について

### 1 趣旨

教育課程に関する質問のうち、部会全体で考え方を確認・共有すべき事項がある場合、当日、可能な範囲で精選して回答するものである。

### 2 作成について

- 別紙様式2により、各部会の質問事項をまとめて1つのシートで作成すること。
- 所定の欄に、都道府県・指定都市番号（別添3参照）、都道府縣市名・学校名等（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は学校名等）を記入し、部会名をドロップダウンリストから選択すること。
- 「質問事項」欄には、教育課程に関して文部科学省に質問がある場合は部会ごとに3問を限度として簡潔に質問内容を記述すること。なお、質問事項がない場合、提出の必要はない。
- 「考え方」欄には、質問事項について問合せがあった際、どのような回答を行っているかなど、都道府縣市等としての考え方を記述すること。

### 3 提出方法について

教育課程課教育課程第三係（kyoiku3@mext.go.jp）宛てに電子メールで提出すること。

○添付ファイル名については、以下のとおりとする。

- ・都道府県・指定都市教育委員会の場合

都道府県・指定都市番号【都道府縣市名（公）】高校協議会質問事項

<記入例>01【北海道（公）】高校協議会質問事項

- ・国立・公立大学法人附属学校の場合

都道府県・指定都市番号【大学名（国・公）】高校協議会質問事項

<記入例>10【群馬大（国）】高校協議会質問事項

- ・都道府県私立学校担当部局等の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】高校協議会質問事項

<記入例>20【長野県（私）】高校協議会質問事項

## 各部会における提出資料の作成及び提出方法について

## 1 作成について

- 別添6を確認の上、部会ごとに必要な資料を作成すること。
- 所定の欄に、部会名、都道府県・指定都市名（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は学校名等）、都道府県・指定都市番号（別添3参照）、担当指導主事名（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は参加者名）を記入すること。
- 国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等からの参加者についても、可能な範囲で作成し、提出すること。

## 2 提出方法について

クラウドストレージサービス「Box」内の各部会フォルダに提出し、全ての部会の資料提出が完了次第、その旨を教育課程課教育課程第三係（kyoiku3@mext.go.jp）宛てに電子メールで報告すること。ただし、「Box」内への提出ができない場合は、ファイルを直接教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで提出すること。各部会フォルダのリンクは次頁の表を参照すること。

※ファイルは別途の指定がない限り、協議題ごとに一つの pdf ファイル（例：国語部会の協議①で一つの pdf ファイル、国語部会の協議②で一つの pdf ファイル等）にまとめて提出すること。

○ 添付ファイル名については、以下のとおりとする。

・都道府県・指定都市教育委員会の場合

都道府県・指定都市番号【都道府縣市名（公）】高校協議会提出資料（部会名）

<例>01【北海道（公）】高校協議会提出資料①（国語）

01【北海道（公）】高校協議会提出資料②（国語）

・国立・公立大学法人附属学校の場合

都道府県・指定都市番号【大学名（国・公）】高校協議会提出資料（部会名）

<例>10【群馬大（国）】高校協議会提出資料①（国語）

10【群馬大（国）】高校協議会提出資料②（国語）

・都道府県私立学校担当部局等の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】高校協議会提出資料（部会名）

<例>20【長野県（私）】高校協議会提出資料①（国語）

20【長野県（私）】高校協議会提出資料②（国語）

※「その他提出資料」の場合は「その他提出資料」とし、協議の提出資料に併せて提出するよう依頼された補足資料等の場合は「（部会名）」の後にその旨追記すること。

<例>01【北海道（公）】高校協議会その他提出資料

01【北海道（公）】高校協議会提出資料①（国語）補足資料

部会名	フォルダリンク
総則	<a href="https://mext.ent.box.com/f/e3bf6a0cb5224668be18cb395bcc91ee">https://mext.ent.box.com/f/e3bf6a0cb5224668be18cb395bcc91ee</a>
国語	<a href="https://mext.ent.box.com/f/3fd671093cf243cd9f3b6e8d3e4616a5">https://mext.ent.box.com/f/3fd671093cf243cd9f3b6e8d3e4616a5</a>
地理歴史	<a href="https://mext.ent.box.com/f/771db6454a96490fa4217c6b8ef26ea0">https://mext.ent.box.com/f/771db6454a96490fa4217c6b8ef26ea0</a>
公民	<a href="https://mext.ent.box.com/f/1e219456383e4ef183311fae0d666ca7">https://mext.ent.box.com/f/1e219456383e4ef183311fae0d666ca7</a>
数学	<a href="https://mext.ent.box.com/f/5f7ba61af5394adf9def1a0313540aeb">https://mext.ent.box.com/f/5f7ba61af5394adf9def1a0313540aeb</a>
理科	<a href="https://mext.ent.box.com/f/19768384d42f48739b91550ca636d072">https://mext.ent.box.com/f/19768384d42f48739b91550ca636d072</a>
理数	<a href="https://mext.ent.box.com/f/87d69d2d079a4867b9577d6ddf278925">https://mext.ent.box.com/f/87d69d2d079a4867b9577d6ddf278925</a>
保健体育	<a href="https://mext.ent.box.com/f/d879b0becb00410cb0a8e69390787d95">https://mext.ent.box.com/f/d879b0becb00410cb0a8e69390787d95</a>
芸術（音楽）	<a href="https://mext.ent.box.com/f/57c23ef2a20b4bcd8a986029ca64c262">https://mext.ent.box.com/f/57c23ef2a20b4bcd8a986029ca64c262</a>
芸術（美術、工芸）	<a href="https://mext.ent.box.com/f/c78913b4a9a64acd9c2aa34dcb74c101">https://mext.ent.box.com/f/c78913b4a9a64acd9c2aa34dcb74c101</a>
芸術（書道）	<a href="https://mext.ent.box.com/f/44e16215cd05487ea5ab02608599b13a">https://mext.ent.box.com/f/44e16215cd05487ea5ab02608599b13a</a>
外国語	<a href="https://mext.ent.box.com/f/fe2587205be44ce5bb36e63564a49eae">https://mext.ent.box.com/f/fe2587205be44ce5bb36e63564a49eae</a>
家庭	<a href="https://mext.ent.box.com/f/8ea08dba0d994f39a57f36c9c8ed574f">https://mext.ent.box.com/f/8ea08dba0d994f39a57f36c9c8ed574f</a>
情報	<a href="https://mext.ent.box.com/f/1e8c8ae4687d4c3b8956fc885fa6b5f4">https://mext.ent.box.com/f/1e8c8ae4687d4c3b8956fc885fa6b5f4</a>
総合的な探究の時間	<a href="https://mext.ent.box.com/f/9916d1765c2d4ef181559b7f3cf26aa0">https://mext.ent.box.com/f/9916d1765c2d4ef181559b7f3cf26aa0</a>
特別活動	<a href="https://mext.ent.box.com/f/dc61311ac3a1427d8eae0266bc0eb7cd">https://mext.ent.box.com/f/dc61311ac3a1427d8eae0266bc0eb7cd</a>

## 令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

### 総則部会

協議①			
協議題	スクールポリシーの下でのカリキュラム・マネジメントの実現に向けた方策について		
趣旨	<p>域内の各高等学校でグラデュエーションポリシーに掲げた資質・能力を生徒に育成するためには、カリキュラム・ポリシーを整え、その下で、実際に教育課程の編成・実施の取組を充実することが必要不可欠である。また、学習指導要領総則においては、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと(カリキュラム・マネジメント)に努めるものとされている。</p> <p>高等学校においては、令和6年度に今次学習指導要領が全ての生徒に適用されることとなるため、本年度は、カリキュラム・ポリシーの下での新たな教育課程の編成、実施の準備を行う重要な時期にある。こうした状況を踏まえ、6月の連絡協議会においては、各高等学校における目指す資質・能力を生徒に育成するための教育課程の編成・実施の取組を十全なものとする観点から、スクールポリシーの実現に向けた現状と課題、解決方策について協議を行った。</p> <p>本協議においては、スクールポリシーの下でのカリキュラム・マネジメントの実現に向けて、各高等学校における取組を推進するための教育委員会としての役割と支援の在り方について協議を行う。</p>		
提出資料	<p>域内の高等学校における、スクールポリシーを意識したカリキュラム・マネジメントが行われている、又はそれに向けて努力している事例</p> <p>※当日は、これを基に①事例の工夫点や課題と②教育委員会としての役割と支援の在り方について、協議を行う。</p>		
作成様式	任意様式(既存の資料でもよいが、別紙様式4も活用可)		
提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・域内の高等学校における、スクールポリシーを意識したカリキュラム・マネジメントが行われている、又はそれに向けて努力している事例について、できるだけ具体的に示すこと。また、様子が分かる資料などがあれば、画像などで示すこと。</li> <li>・提出する事例における工夫点について、カリキュラム・マネジメントの3つの側面との関係を可能な範囲で示すこと。</li> <li>・学校設定科目などの単一科目にとどまらず、各教科等にわたってスクールポリシーの趣旨を踏まえた教育課程編成を行っている事例を取り上げることが望ましい。</li> <li>・ページ数の上限はなし。</li> </ul> <p>【協議の進め方】 当日は、持ち寄った事例をもとにグループ内で協議を行う。</p>		
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
提出資料	協議①の提出資料の関連資料(各都道府県・指定都市教育委員会等において、作成している、又は所有している場合は可能な範囲で提出すること。)		
作成様式	任意様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存資料を提出すること。教育委員会のホームページ等に掲載されている場合には、URLを提出すること。</li> <li>・提出資料の1ページ目の余白(原則として資料上部)に、部会名・都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。</li> <li>・事例に関する資料は、協議中に共有していただく等、協議においても積極的に活用いただきたい。</li> </ul>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20230120-mxt_kyoiku02-100002604_03.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20230120-mxt_kyoiku02-100002604_03.pdf</a>
	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総則編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20211102-mxt_kyoiku02-100002620_1.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20211102-mxt_kyoiku02-100002620_1.pdf</a>

令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

国語部会

協議①			
協議題	新教育課程における、指導と評価の改善・充実について③ —育成を目指す資質・能力と学習活動との整合が図られた効果的な単元構想及び学習評価の工夫・改善の具体の検討(1)—		
趣旨	学習指導要領に基づき、育成を目指す資質・能力と学習活動との整合が図られた効果的な単元構想及び学習評価の工夫・充実を図るための具体について協議の上、新たな事例案を協働的に作成し、効果的だと考えられる指導計画とその考え方等の共有を図ることによって、指導主事としての自覚と力量を高める。		
提出資料	・協議題を踏まえ、以下の1、2について、それぞれ項目を設けて具体的に記載する。 1. 貴管下の学校で、学習指導要領に示された指導事項を目標に掲げ、[知識及び技能]と[思考力、判断力、表現力等]との関連が図られ、資質・能力の育成と評価が適切に実施されたと考えられる単元の事例一つ。 (1) 単元については、「現代の国語」又は「言語文化」の該当の領域等(別紙参照)に関するものとする。 (2) 単元的事例の示し方については、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校国語】(国立教育政策研究所)の第3編の各事例の記載のうち、下記の項目については必ず示すものとする。 「単元名」、「1 単元の目標」、「2 本単元における言語活動」、「3 単元の評価規準」、「4 指導と評価の計画」(【単元の流れ】のみでよい。) 2. 1. の事例に対する指導主事としての評価(優れている点と改善の余地のある点等)。		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	【事前提出資料の作成に当たって】 ・事例の科目、領域等について明確に示すこと。 ・いずれも別紙様式により、A4判で作成すること(1. については枚数自由。2については、1枚以内)。 ・資料の作成に当たっては、前回までの指導主事会の行政説明資料や各参加者作成資料を参考にすること。  【協議の進め方】 ・研究協議においては、持ち寄った事例について、グループ内で発表の後、協議題に即して協議した後、別グループで新たな事例案をアピールポイントも含めて作成する予定である。 ・作成された事例案については、研究協議会後にデータで共有する予定である。		
協議②			
協議題	新教育課程における、指導と評価の改善・充実について④ —育成を目指す資質・能力と学習活動との整合が図られた効果的な単元構想及び学習評価の工夫・改善の具体の検討(2)—		
趣旨	作成された事例案について、育成を目指す資質・能力と学習活動との整合が図られた効果的な単元構想及び学習評価の工夫・充実を図るために適切かという点から評価し、全体で発表・協議することによって、指導主事としての自覚と力量を高める。		
提出資料	・事前の提出資料なし。 ・事後の提出資料として、協議題を踏まえ、以下の1、2について、それぞれ項目を設けて具体的に記載する。 1. 本研究協議会における具体的な事例案の作成や協議、情報交換等を通して得られた指導主事としての知見等 2. 1. も踏まえ、貴管下の学校に対して、今後、指導主事として行いたい新たなアクション(次年度の予定も含め、できるだけ多く箇条書きで示す。)		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	【協議の進め方】 協議①で作成された事例案について、別グループで評価し、発表する。評価に当たっては、作成グループによるアピールポイントを踏まえつつ、資質・能力の育成という点で優れている点と改善の余地のある点について協議する。(全体での発表に際して、適宜調査官からコメントを行う予定。)  【事後提出資料の作成に当たって】 ・事後提出資料については、別紙様式により、A4判で作成し、12月7日(木)までに提出すること(1、2をまとめて1ページ以内)。 ・事後提出資料については、集約の後、参加者に共有する予定である。		
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
提出資料	新学習指導要領国語科の周知徹底、教育課程の編成、授業改善等に関して、貴教育委員会等が、学校・教員対象に作成・配付した説明資料等		
作成様式			
提出資料作成に当たったの留意事項	前回指導主事会以降に作成・配付したもののみでよい(学習評価のみの資料を含む。)		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 国語編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20210909-mxt_kyoiku01-100002620_02.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20210909-mxt_kyoiku01-100002620_02.pdf</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 国語】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_kokugo.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_kokugo.pdf</a>

令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

地理歴史部会

協議①			
協議題	科目のまとめとして位置付けられる中項目の学習の充実に向けた、全体でのまとまりを工夫した年間指導計画の作成・改善、活用		
趣旨	科目の目標の実現を目指す上で、まとめとして位置付けられる中項目の適切な実施が重要である。生徒が自ら課題や主題を設定し探究する活動を充実するには、どのようなポイントを意識して年間指導計画を作成・改善することが考えられるか、どのように指導助言に活用できるか等について、持ち寄った事例をもとに協議を行い、高等学校における教育課程の適切な実施を図ることを目的とする。		
提出資料	貴管内における実態を踏まえ、以下についてそれぞれ項目を設けて作成すること。 (1)年間指導計画作成のポイント(①「地理総合」のポイント、②「歴史総合」のポイント) (2)(1)のポイントを踏まえた年間指導計画の例(①「地理総合」の年間指導計画、②「歴史総合」の年間指導計画) (3)「地理総合」C(2)あるいは「歴史総合」D(4)の実践事例		
作成様式	(1)(2)別紙様式3 ※共通様式 (3)任意様式		
提出資料作成に当たった際の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(1)(2)について、A4判4ページ以内で作成すること。</li> <li>・(2)は、必ずしも新しく作成することを求めるものではなく、既存のものを改善してもよい。ただし、どのような工夫を行っているかが分かるように記載すること。</li> <li>・(2)について、既存のものを別紙様式3にコピー＆ペーストする場合には、文字などが判別しやすいよう留意すること。</li> <li>・(3)については、提出できる場合のみ、任意の様式で提出資料に含めること。</li> </ul> <p>【協議の進め方】 当日は、提出資料をもとに、グループで「科目のまとめとして位置付けられる中項目の学習の充実に向けた、全体でのまとまりを工夫した年間指導計画の作成・改善、活用」についての協議、情報交換等を行う。その後、複数のグループによる発表を通じて、協議した結果を共有する。</p>		
協議②			
協議題	地理歴史科における新課程の実施上の課題とその対応		
趣旨	令和5年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会において、地理歴史科における新課程の着実な実施を目指した取組には、多くの成果が確認できた一方、解決すべき課題も多いことが確認された。提示する議題を中心に、各都道府県市教育委員会の取組や対応を共有、協議することで、今後の指導助言並びに新課程3年目である令和6年度に向けての対応を考えることを目的とする。		
提出資料	なし		
作成様式	—		
提出資料作成に当たった際の留意事項	<p>【協議の進め方】 当日は、以下の①から④の議題について、事例発表を踏まえてグループで意見交換や協議を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「地理探究」の実施上の課題とその対応</li> <li>②必修科目の新設による地理履修者の増加に伴う課題とその対応</li> <li>③「日本史探究」、「世界史探究」の実施上の課題とその対応</li> <li>④歴史領域科目における資料の活用に関わる課題とその対応</li> </ul>		
その他部会当日に手元 用意しておく資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 地理歴史編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20220802-mxt_kyoiku02-100002620_03.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20220802-mxt_kyoiku02-100002620_03.pdf</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 地理歴史】
	用意しておく箇所	資料全体	
	インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_chirirekishi.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_chirirekishi.pdf</a>	

令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

公民部会

協議①			
協議題	公民科における「専門家や関係諸機関等との連携・協働」の推進について		
趣旨	現実の社会的事象等を扱うことのできる公民科ならではの「主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度の育成」が必要とされている。その際、専門家や関係諸機関などと連携・協働を積極的に図り、これらを活用した学習活動を指導計画に適切に位置付けることが求められる。公民科における「専門家や関係諸機関等との連携・協働」について、事例発表をもとに協議を行い、今後の学校に対する支援・助言に活かす。		
提出資料	なし		
作成様式	—		
提出資料作成に当たっての留意事項	【協議の進め方】 事例発表をもとに、グループで公民科における「専門家や関係諸機関等との連携・協働」について情報交換を行う。その後、いくつかのグループの発表者への質問事項を取り上げて、質疑応答を行うなどして、全体で情報共有を行う。		
協議②			
協議題	社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、現代の諸課題を探究する活動をどのように充実させるかについて		
趣旨	「公共」という科目の固有の性格や目標及び内容構成の趣旨を踏まえ、全体としての調和のとれた指導と評価の計画を作成することが求められている。「公共」における、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、現代の諸課題を探究する活動をどのように充実させるか、持ち寄った事例をもとに協議を行い、今後の学校に対する支援・助言に活かす。		
提出資料	「公共」大項目Cの指導と評価の計画に関する事例を1つ		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4判4ページ以内で作成すること。但し、都道府県・指定都市等で独自の様式がある場合は、この限りではない。（その場合でも、A4判4ページ以内とし、PDF化して提出すること。）</li> <li>・事例には、生徒が設定し探究する課題例を含むこと。（参照）学習指導要領解説pp. 77-78「探究活動の展開例」</li> <li>https://www.mext.go.jp/content/20211102-mxt_kyoiku02-100002620_04.pdf#page=81</li> <li>・提出資料に関わって、資料を添付することも可能。</li> </ul> <p>【協議の進め方】 提出資料を基に、グループで「社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、現代の諸課題を探究する活動」の現状と課題について情報交換を行う。その後、いくつかのグループから発表し、全体で情報共有を行う。</p>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 公民編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20211102-mxt_kyoiku02-100002620_04.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20211102-mxt_kyoiku02-100002620_04.pdf</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 公民】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_koumin.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_koumin.pdf</a>

# 令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

## 数学会

協議①		
協議題	高等学校数学科における主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に向けた指導助言	
趣旨	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に向けた取組の一環として、参観した授業や実践発表等に対して指導助言する機会のある方が多いと思われる。そこで、指導助言の具体的事例を共有することを通して、主体的・対話的で深い学びの視点からの指導助言についての力量を高め合うとともに、指導主事としての授業改善支援の在り方について協議する。	
提出資料	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に向けた指導助言の具体的1事例	
作成様式	別紙様式5	
提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別紙様式5を用いて、<b>A4判2ページ以内</b>で作成すること。</li> <li>・指導助言の議論が主であるため授業実践の質は問わないが、共有すると何らかの意味で参考になる実践が望ましい。例えば、各自治体における何らかの取組の一環としての実践は特徴的な事例として参考になると考えられるし、逆にどこでも行われていそうな普通の授業に対する指導助言は他自治体も活かしやすいと考えられる。</li> <li>・必要に応じて、各自治体の教育委員会事務局と教育センター・研究所が連携して本資料を作成することが望まれる。</li> </ul> <p><b>【協議の進め方】</b> グループ内でそれぞれの提出事例に即した指導助言について検討することを通して、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に向けた指導助言のポイントについて協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。</p>	
協議②		
協議題	高等学校数学科における主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に向けた取組の実際	
趣旨	昨年度の研究協議会では“数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動”の一層の充実に向けた課題と取組について協議し、今年度の連絡協議会においても、数学的活動を通して主体的・対話的で深い学びの実現を図ることを強調したところである。そこで今回は、各自治体で引き続き進めておられる、数学的活動を通じた主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に向けた取組について、その実際とともに成果と課題についても共有することを通して、より実効性のある取組の実現に向けた協議を行う。	
提出資料	各自治体における実態を踏まえ、取組ごとに以下の2点を1セットとして、それぞれ項目を設けて具体的に記述すること。 ①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の取組 ②その取組の成果と課題	
作成様式	別途様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>別紙様式3を用いて、<b>A4判2ページ以内</b>とする。</li> <li>・取組が複数にわたると考えられるため、共通様式においては、取組(1)、取組(2)、…のように分けて記し、それぞれにおいて①と②を具体的に記述すること。その際、①において、数学的活動を通すことについてどのように共有を図っているかについての記述を入れ込むこと。</li> <li>・「成果」は大々的なものや量的なものでもなくともかまわない。例えば「こんな反応があった」、「教師個人にこんな変更がみられた」といった質的なものでもよい。</li> <li>・必要に応じて各自治体の教育委員会事務局と教育センター・研究所が連携して本資料を作成することが望まれる。</li> <li>※共通の課題として、数学的活動というと「授業時数が足りない」、「本校にはできない」といった反応があることが報告されているため、ここを乗り越えていくような取組があればぜひご提案いただきたい。</li> </ul> <p><b>【協議の進め方】</b> グループ内でそれぞれの提出事例について共有し、数学的活動を通じた主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に向けた実効性のある取組の実現について協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。</p>	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編
	① 用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
	インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1407074.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1407074.htm</a>
	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 数学】
	② 用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
	インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyokka/r030820_hig_suugaku.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyokka/r030820_hig_suugaku.pdf</a>

令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

理科部会

協議①			
協議題	「主体的に学習に取り組む態度」の評価の事例について		
趣旨	「指導と評価の一体化」のための学習評価について、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の様々な事例を共有し、今後の学校支援につなげる。		
提出資料	貴管内における次の①と②の事例のいずれかを選択して記述すること。 ①「主体的に学習に取り組む態度」の評価として適切と考えられる事例 ②「主体的に学習に取り組む態度」の評価として改善が必要と考えられる事例		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4判2ページ程度とする。</li> <li>・①か②のどちらかの事例かを明記すること。</li> <li>・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料の60・64ページの書き方を参考に、当該授業の学習指導案をもとに「科目名」、「単元名」、「本時のねらい」、「評価規準」について記載すること。可能であれば「評価例」も記載する。</li> <li>・①の事例の場合はなぜ適切か、②の事例の場合はなぜ改善が必要かの理由を記載し、改善策を記載すること。</li> </ul> <p>【協議の進め方】 グループ内で提出事例のポイントを整理し、事例に即して具体的に実践上の課題及びその解決に向けた取組を協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。</p>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 理科編 理数編
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1407074.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1407074.htm</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 理科】
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryvou.html">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryvou.html</a>

令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

理数部会

協議①		
協議題	探究に関する教員の指導力向上のための取組について	
趣旨	探究に関する教員の指導力向上のための取組について情報交換を行うとともに、探究の指導の充実について協議し、「理数」科目の開設の拡充につなげる。	
提出資料	貴管内における、探究に関する教員の指導力向上のための取組事例	
作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たったの留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4判1ページ程度で作成すること。</li> <li>・探究に関する教員の指導力向上のための取組の事例をまとめた資料を作成すること。</li> <li>・理数探究基礎、理数探究について、教員の指導力向上が図られている場合は、その取組の記載を優先すること。</li> <li>・取組の内容は、以下を参考にして可能な範囲で記載すること。 例：対象者(管理職、教員等、担当教科が分かれば記載)、参加者数、研修内容、事業費</li> <li>・取組に関する実施要項等があれば添付すること。</li> </ul>	
その他部会当日に手元に 用意しておく資料	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 理数編
	① 用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
	インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1407074.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1407074.htm</a>
	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 理数】
	② 用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
	インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html</a>

令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

保健体育部会

協議①		
協議題	保健体育科の「科目保健」に関する成果と課題及びその対応について	
趣旨	保健の学習に関する指導内容や指導方法の工夫について、成果と課題の把握や課題の解決策の検討をすることにより、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の一層の充実を目指す。	
提出資料	・都道府県・指定都市における科目保健に関する成果と課題について ・課題の解決に向けた現状の取組や対応等について	
作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たっての留意事項	提出資料は、以下の点を踏まえて作成すること。 ○A4判1ページにまとめること。 ○都道府県・指定都市における科目保健に関する課題は、以下の内容から選択すること。 ・系統性を踏まえた科目保健の指導について ・現代的健康課題(がん、性、心など)に関する指導の工夫について ・科目保健に関するカリキュラム・マネジメントの充実について ・「科目保健」と「科目体育」との一層の関連を図った指導について ・運動習慣の形成につなげる科目保健の学習について  【協議の進め方】 提出された資料をもとに、グループ内で事例の情報共有、課題解決に向けた協議等を行う。グループ協議後、全体で交流する。	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 保健体育編 体育編
	① 用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/1407073_07_1_2.pdf">https://www.mext.go.jp/content/1407073_07_1_2.pdf</a>
	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 保健体育】
	② 用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_hokentaiiku.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_hokentaiiku.pdf</a>

令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

芸術(音楽)部会

協議①		
協議題	学習指導要領の実施における高等学校芸術科「音楽Ⅰ」の課題とその対応及び成果について	
趣旨	各地域における授業実践の好事例や、研修等での周知や協議の内容等について情報交換するとともに、学習指導要領の実施における高等学校芸術科「音楽Ⅰ」の課題とその対応及び成果について研究協議を行う。	
提出資料	協議題に係る以下の2点の両方又はいずれかについて具体的に報告するとともに、その成果と課題について考察し記述すること。 (1) 貴管内における授業実践の好事例 (2) 貴管内における研修等での周知や協議の内容	
作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たっての留意事項	A4判2ページ以内に項目を立ててまとめること。 また、参考として都道府県市作成の既存資料等があれば提出してもよい。 <b>【協議の進め方】</b> 当日は、グループ内で提出資料の概要を報告し、その内容を基に成果と課題及びその解決に向けた取組について協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 芸術(音楽 美術 工芸 書道)編 音楽編 美術編
	① 用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/1407073_08_2.pdf">https://www.mext.go.jp/content/1407073_08_2.pdf</a>
	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 芸術(音楽)】
	② 用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_ongaku.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_ongaku.pdf</a>

令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

芸術(美術、工芸)部会

協議①			
協議題	高等学校芸術科(美術、工芸)における資質・能力の育成を目指した授業の実際 (「A表現」と「B鑑賞」の相互の関連を図った指導について)		
趣旨	表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた授業実践について共有し、その事例がどのように学習の充実や資質・能力の育成を図ることにつながったのか、指導と評価の工夫の観点から協議する。		
提出資料	「A表現」と「B鑑賞」の相互の関連を図った実践事例		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	<p>○各都道府県、指定都市における実践事例をA4判2ページ程度にまとめること。 ○学年、形式は問わない。美術か工芸のどちらか、もしくは両方でもよい。項立ても任意とする。次のことについて記述することが考えられる。</p> <p>・題材名 ・実践学年 ・題材の目標 ・題材の概要(題材の設定や指導の工夫について) ・評価規準 ・指導と評価の計画 ・授業展開(本時のみでも可) ・成果と課題 など</p> <p>【協議の進め方】 提出資料をもとに、「A表現」と「B鑑賞」の相互の関連を図った実践事例の内容と資質・能力の育成について、指導と評価の工夫の視点からグループで協議する。その際、グループごとに簡素にまとめる。</p>		
協議②			
協議題	「A表現」と「B鑑賞」の相互の関連を図った指導の充実に向けて		
趣旨	表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた授業をより効果的に行うために、授業づくりをする上で課題となること、課題の解決に向けた自治体としての取組について共有し、指導主事としての学校支援の在り方について協議する。		
提出資料	<p>次の内容について、記載すること。</p> <p>・協議①の実践事例について、具体的にどのような点がよかったか。 ・協議①の実践事例について、更にどのような点について留意するとよいと考えたか。 ・今後、各地域で、周知や指導に向け、どのようなことに取り組んでいけばよいか。</p>		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	<p>・A4判1ページ程度にまとめること。 ・項立ては任意とする。</p> <p>【協議の進め方】 午前中の協議を踏まえ、各都道府県、指定都市の現状や学校での取組状況も交えて、「A表現」と「B鑑賞」の相互の関連を図った指導の充実に向けてのポイントについて協議する。その際、グループごとに簡素にまとめ、発表し、全体で共有する。</p>		
その他部会当日に用意しておく資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 芸術(音楽 美術 工芸 書道)編 音楽編 美術編
		用意しておく箇所	芸術編のうち芸術科(美術、工芸)に係る部分及び美術編
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/1407073_08_2.pdf">https://www.mext.go.jp/content/1407073_08_2.pdf</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 芸術(美術)、芸術(工芸)】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<p>芸術(美術) <a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_bijutsu.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_bijutsu.pdf</a>                      芸術(工芸) <a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_kougei.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_kougei.pdf</a></p>

令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

芸術(書道)部会

協議①			
	協議題	高等学校芸術科(書道)における、資質・能力の確実な育成のための学習評価の視点からの授業改善の取組	
	趣旨	資質・能力の育成を目指した学習評価の視点からの学習過程の改善並びに指導の工夫・改善の取組の現状を共有し、協議を行う。	
	提出資料	次の内容について、記載すること。 ・貴管内における協議題に係る授業改善(学習過程の改善、指導の工夫・改善)の取組の事例の概要 ・協議題に関連する教育委員会等の取組、教育現場の課題	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	・A4判2ページ以内にまとめること。 ・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している関連資料等があれば、上記の「提出資料」と併せて提出すること。  【協議の進め方】 グループ内で提出資料の概要を報告共有したのち、グループ内で教育現場取組の状況と課題について協議する。	
その他部会当日に手元 用意しておく資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 芸術(音楽 美術 工芸 書道)編 音楽編 美術編
		用意しておく箇所	書道Ⅰ、書道Ⅱ、書道Ⅲ
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/1407073_08_2.pdf">https://www.mext.go.jp/content/1407073_08_2.pdf</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習指導に関する参考資料【高等学校 芸術(書道)】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_shodou.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_shodou.pdf</a>

# 令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

## 外国語部会

協議①			
協議題	発信力育成に向けた年間指導計画の在り方について		
趣旨	発信力を育成するためには、年間指導計画のもと、段階的な指導を行うことが大切である。年間指導計画において留意すべき点を協議し、今後の域内の学校に対する指導助言に役立てる。		
提出資料	① 「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」のいずれかについて、高等学校で作成された令和5年度の年間指導計画の1事例 ② ①の年間指導計画について、発信力育成のための段階的な指導の観点から(1)よい点とその理由、(2)改善点があればその改善案を、箇条書きでまとめた資料		
作成様式	①任意様式 ②別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	・①については、評価の計画がわかるものになっていることに留意すること。 ・②はA4判1ページ以内でまとめる。 ・必ずしも好事例でなくてもよい。できる限り訪問した学校のものであることが望ましい。  【協議の進め方】 資料①と②を基に、年間指導計画についての留意点をグループで協議する。		
協議②			
協議題	発信力を育成するための単元計画とパフォーマンステスト		
趣旨	発信力を育成するためには、年間指導計画のもと、パフォーマンステストの実施を含めた単元計画を作成し指導を行うことが大切である。また、言語活動の更なる充実や指導と評価の充実を図るためにAIやICTを活用することも有効である。パフォーマンステストの実施を含めた単元計画において留意すべき点やAIやICTの活用例について協議し、今後の域内の学校に対する指導助言に役立てる。		
提出資料	① 協議①で提出する年間指導計画において扱っている1つの単元を取り上げ、発信力育成(話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと[いずれか])を主たる目標としている単元計画とその単元目標の達成を測るためのパフォーマンステストの1事例 ② ①について(1)よい点とその理由、(2)改善点があればその改善案を、箇条書きでまとめた資料		
作成様式	①任意様式 ②別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	・①については、1つの単元もしくは複数単元を通した目標を設定することも考えられる(参考:『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」第3編 事例1及び事例3)。必ずしも1つの単元のみではないことに留意すること。 ・①については、単元計画は「科目名、単元名、内容のまとめ、単元の目標、評価規準、指導と評価の計画」を記載し、パフォーマンステストについては「テストの内容・方法、採点の基準」を記載すること。その際、AIやICTの活用場面があれば、明記すること。 ・②は、A4判1ページ以内でまとめる。 ・必ずしも好事例でなくてもよい。できる限り訪問した学校のものであることが望ましい。  【協議の進め方】 (1)提出資料①と②を基に、単元計画とパフォーマンステストについて協議する。 (2)グループで持ち寄った事例の中から1つ取り上げ、全体で共有・協議する。		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 外国語編 英語編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/1407073_09_1_2.pdf">https://www.mext.go.jp/content/1407073_09_1_2.pdf</a>
	②	資料名	高等学校外国語科におけるパフォーマンステスト参考資料
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20220715-mxt_kyoiku01-000021347_1.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20220715-mxt_kyoiku01-000021347_1.pdf</a>
	③	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 外国語】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyoka/r030820_hig_gaikokugo.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyoka/r030820_hig_gaikokugo.pdf</a>

令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

家庭部会

協議①			
協議題	学習指導要領の着実な実施のための、教育委員会におけるその後の取組		
趣旨	本年6月に開催した高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会家庭部会では、協議を通じて、教師が抱える課題意識を把握し、学習指導要領の着実な実施に向けて、指導主事等がどのような取組をする必要があるか、について各自考えていただいた。その後の取組及び成果と課題を情報共有するとともに、取組を進めていくための今後の具体的な手立てについて協議を通じて再度検討し、域内の学校に対してよりよい指導助言ができるようにする。		
提出資料	本年6月の指導主事連絡協議会の協議①により、それぞれが立てた目標に対する取組状況		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4判1ページ程度でまとめること。</li> <li>・6月の指導主事連絡協議会の協議①により、それぞれが立てた目標に対し、取り組んだ内容について、以下の項目でまとめる。               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 目標(6月の指導主事連絡協議会の後に提出いただいた資料に書いた「〇具体的な取組目標」から一つを選択すること。)</li> <li>(2) 目標に対する今年度のこれまでの実施状況とその成果と課題</li> <li>(3) 今後の展望について</li> </ol> </li> </ul> <p>【協議の進め方】 いくつかの自治体による取組状況についての発表を聞き、取組を進めていくための今後の具体的な手立てについて協議を行う。協議を通じて、各自の今後の展望についてより明確にする。</p>		
協議②			
協議題	生活の中から問題を見いだして課題を設定する場面からの一連の学習過程を意識した単元計画とその授業展開		
趣旨	家庭科、技術・家庭科家庭分野で育成することを目指す資質・能力は、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせつつ、生活の中の様々な問題の中から課題を設定し、その解決を目指して解決方法を検討し、計画を立てて実践するとともに、その結果を、評価・改善するという活動の中で育成されるものであり、この一連の学習過程(生活の課題発見、解決方法の検討と計画、課題解決に向けた実践活動、実践活動の評価・改善)を重視して授業を展開していく必要がある。ここでは、「生活の中から問題を見いだして課題を設定する」場面に焦点を当て、指導のポイントについて協議を通じて考え、今後の域内の学校に対する指導助言に活かす。		
提出資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 今年度の「家庭基礎」または「家庭総合」の実践事例(協議題に即した単元計画及び本時の授業展開)を1つ</li> <li>(2) (1)の事例を選んだ意図</li> </ol>		
作成様式	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 任意様式</li> <li>(2) 別紙様式3 ※共通様式</li> </ol>		
提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の選択は任意とする。</li> <li>・本時の授業展開は、「家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定する場面」とすること。その際、ICTの活用場面がある場合は、そのことが分かるように示すこと。</li> <li>・提出資料に関わって、資料を添付することも可能とする。</li> </ul> <p>【協議の進め方】 ・グループに分かれ、提出資料をもとに事例を紹介し、「生活の中から問題を見いだし課題を設定する」場面での指導のポイントについてまとめ、全体で共有する。 ・全体共有された指導のポイントを踏まえ、グループごとに、「生活の中から問題を見いだし課題を設定する場面」を含む授業展開を1つ作成する。</p>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 家庭編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/1407073_10_1_2.pdf">https://www.mext.go.jp/content/1407073_10_1_2.pdf</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 家庭】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_katei.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_katei.pdf</a>
	③	資料名	6月に開催した指導主事連絡協議会 高等学校家庭科部会の協議①に係る事後提出資料
		用意しておく箇所	資料全体(各自が提出した資料)
		インターネットでの掲載場所	—
	④ ※任意	資料名	「家庭基礎」若しくは「家庭総合」の教科書
		用意しておく箇所	資料全体 ※協議題②の授業展開作成時の参考資料としての活用を想定
		インターネットでの掲載場所	—

令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

情報部会

協議①		
協議題	共通教科情報科「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」の学習指導と学習評価の工夫・改善について	
趣旨	情報活用能力を更に高めるための教科等横断的な視点での学習指導と学習評価の充実、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」の学習指導と学習評価の工夫・改善に関する事例を共有し、協議を通して、学校への支援や助言を行うポイントを確認する。	
提出資料	(1) 共通教科情報科「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」の学習指導と学習評価の工夫・改善に関する、域内の学校における特徴的な事例。事例については、以下の2つの項目について1つずつ記載する。 ・教科等横断的な視点での取組 ・主体的・対話的で深い学び、探究的な学び、個別最適な学び、協働的な学び  (2) 上記の事例についての、設置者としての評価及び成果と課題、今後の方針等。内容については、以下の2点について記載する。 ・別紙様式6で提出した各事例に対する指導主事等としての評価 ・本協議会に関する設置者としての管下の学校に対する取組の成果と課題、今後の方針等	
作成様式	(1) 別紙様式6 (2) 別紙様式7	
提出資料作成に当たった留意事項	・(1)は、事例についてできるだけ具体的に記載すること。 ・(1)については、情報Ⅱ実施校がある自治体は、情報Ⅱの事例について、情報Ⅱ実施校がない自治体は、情報Ⅰの事例について作成すること。 ※提出事例について、文部科学省ホームページ「高等学校情報科特設ページ」への掲載を相談させていただく可能性がある。 ・(2)は、要点をA4判1ページ程度で記載すること。  【協議の進め方】 全体への口頭発表(別途事務局より事前に依頼)及びグループ協議を行う。 ※5人程度の方に発表していただく(1人10分程度)。 ※発表者は事前に事務局より依頼する。	
協議②		
協議題	専門教科「情報」の学習指導と学習評価の工夫・改善について	
趣旨	「課題研究」「情報実習」「学校設定科目」以外の共通的分野、情報システム分野、コンテンツ分野の各科目における観点別学習状況の評価を工夫して行っている事例を共有し、協議を通して、専門教科情報科の推進に向けたポイントを確認する。	
提出資料	なし	
作成様式	—	
提出資料作成に当たった留意事項	【協議の進め方】 令和5年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会〔職業に関する教科〕(R5.6.29実施)で既に提出済の資料(事例報告様式)を用い、全体への口頭発表(別途事務局より事前に依頼)及びグループ協議を行う。 ※資料については、上記の協議会にて取りまとめた資料(PDF)を事務局より事前に送付する。 ※5人程度の方に発表していただく(1人10分程度)。 ※発表者は事前に事務局より依頼する。既に提出済みの資料に基づいて説明するか、他所での発表で使用したスライドがあれば、事前に事務局へ送付の上用いても可。	
協議③		
協議題	情報科エコシステム、外部人材の活用や産業界の連携等により、情報科の授業が着実に実施もしくは、充実するために進んでいる支援について	
趣旨	文部科学省事業「高等学校情報科等強化によるデジタル人材の供給体制整備支援事業」もしくは独自の取組により、情報科の授業が着実に実施もしくは、充実するための取組事例を共有し、協議を通して、共通教科情報科の推進に向けたポイントを確認する。	
提出資料	情報科エコシステム、外部人材の活用や産業界の連携等により、情報科の授業が着実に実施もしくは、充実するための取組事例	
作成様式	別紙様式8	
提出資料作成に当たった留意事項	・領域毎に専門性の高い指導者の養成や外部人材の供給を円滑に行うエコシステムを構築し、人材の供給体制を整備するための協議の場を立ち上げるなど、情報科の授業が着実に実施もしくは、充実するために進んでいる支援について記載すること。 ・記載時点での取組の状況について記載すること。 ・要点をA4判1ページ程度で記載すること。 ※資料提出後、発表を依頼する事例について、別途事務局より相談する。  【協議の進め方】 全体への口頭発表(別途事務局より事前に依頼)及びグループ協議を行う。 ※5人程度の方に発表していただく(1人10分程度)。 ※発表者は事前に事務局より依頼する。	
その他部会当日に手元 用意しておく資料	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 情報編
	① 用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/1407073_11_1_2.pdf">https://www.mext.go.jp/content/1407073_11_1_2.pdf</a>

令和5年度高等学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

総合的な探究の時間部会

協議① 小中高合同部会として実施			
協議題	総合的な探究の時間を推進し、校外の教育資源を効果的に活用できるようにするための教育委員会としての取組		
趣旨	総合的な探究の時間では、探究の広がりや深まりを促すために、校外の様々な人や施設、団体等からの支援が欠かせない。さらに、家庭の理解と協力も必要である。このことから、各学校が総合的な探究の時間を充実させるために、教育委員会として求められる取組について協議する。		
提出資料	総合的な探究の時間を推進し、校外の教育資源を効果的に活用できるようにするための教育委員会としての取組		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たった際の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4判1ページで作成すること。</li> <li>・各都道府県、指定都市教育委員会や域内の市町村教育委員会が、学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。</li> <li>・1ページ目の余白(資料右上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。</li> <li>・資料が複数ページになる場合であっても必要最小限の資料のみとし、1つのPDFファイルにとりまとめ、ページ下部中央にページ番号を挿入すること。(様式は任意)</li> </ul> <p>【協議の進め方】 本資料をもとに、小中学校、高等学校の合同グループごとに情報共有した後、学校種間の「縦」のつながりを踏まえた教育委員会として求められる取組について協議を行う。</p>		
協議② 高校部会のみで実施			
協議題	「日本社会が抱える現代的諸課題」をテーマとした探究活動について、単元構想の検討及び作成		
趣旨	高校生が将来生きていく中で必ず直面する日本の現代的諸課題をテーマとした探究活動のモデルを創出し、生徒が自己の生き方在り方を考えながら、よりよく課題を発見し解決する「総合的な探究の時間」の発展・充実を図る。		
提出資料	なし		
作成様式	—		
提出資料作成に当たった際の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前提出は不要だが、当日単元構想を作成するため、各自で案を準備しておくこと。</li> <li>・様式は任意だが、A4判2ページ以内とする。</li> </ul> <p>(現代的諸課題の例) ・日本全体の視点から捉えた人口減少社会、エネルギー資源、国際平和、国家財政に関する課題 ※特定の地域、学校が所在する地域に限定せず、国全体の社会課題とすること。</p> <p>【協議の進め方】 当日、出席者同士で協議を行いながら、上記の協議題をテーマにした具体的な単元構想を作成する。部会出席者は事前に自身の案を作成した上で、研究協議に参加すること。</p>		
その他部会当日に手元 用意しておく資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/1407196_21_1_1_2.pdf">https://www.mext.go.jp/content/1407196_21_1_1_2.pdf</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 総合的な探究の時間】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_sougou.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_sougou.pdf</a>
	③	資料名	今、求められる力を高める総合的な探究の時間の展開(高等学校編)
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/main14_a2.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/main14_a2.htm</a>

**令和5年高等学校各教科等教育課程研究協議会**  
**【各部会における協議資料及びその他の提出資料】**

**特別活動部会**

協議①			
協議題	ホームルーム活動(2)の心の健康問題に関する指導について		
趣旨	近年、小学校・中学校・高等学校における不登校児童生徒数、自殺者数は増加しており、特に令和4年の高校生の自殺者数は354人と過去最多であり、生徒の心の健康問題は喫緊の課題である。学習指導要領では、ホームルーム活動(2)において、「心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする」と、「節度ある生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進すること」といった内容を扱うこととしている。そこで、現下の実態も踏まえつつ、本課題の改善に向けて、高等学校のホームルーム活動の役割及び効果的な取組等について協議を行う。		
提出資料	令和4年度・5年度内の管下高等学校における生徒指導上の課題を踏まえ、教育委員会として配布した資料や実施した研修会、創意工夫された実践事例と、管下の高等学校の取組事例		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4判2ページ以内で作成すること。</li> <li>・「ホームルーム活動(2)の心の健康問題に関する指導」(例:いじめや不登校、中途退学の未然防止、自殺予防などのSOSの出し方に関する教育など)のテーマでまとめること。</li> <li>・各都道府県・指定都市において作成し、域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せてA4判2ページ以内で提出すること。その際、1ページ目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。(様式は任意)</li> </ul> <p>【協議の進め方】 本資料をもとにグループごとに情報共有をした後、教育委員会として求められる取組について協議する。</p>		
協議②			
協議題	自分たちで決まりをつくって守る活動(校則の見直しなど)について		
趣旨	学校という集団生活においては、生徒はホームルームや学校における様々なきまりを守って生活する必要があり、各学校の実態に応じて生徒指導上必要とされる校則や、生徒自らがホームルームや学校におけるよりよい生活のために定めるものもある。生徒自らが、自分たちの話し合い活動により適切なきまりをつくりそれを守る活動は、まさしく自発的、自治的な活動であり、自分たちで決定したことについて責任を果たす活動に他ならない。このように集団の合意形成に主体的に関わり、その決定を尊重するという活動を通して、生徒は集団の形成者としての自覚を高め、自主的、実践的な態度を身に付けていくのである。 本協議を通じて、教育委員会や管下の高等学校における「自分たちで決まりをつくって守る活動(校則の見直しなど)」について協議を行う。		
提出資料	令和4年度・5年度の実践を踏まえ教育委員会として配布した資料や実施した研修会、創意工夫された実践事例		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4判2ページ以内で作成すること。</li> <li>・「自分たちで決まりをつくって守る活動について」(特に令和4年度・5年度に各域内の高等学校で進められた校則の見直しなど)のテーマで作成すること。</li> <li>・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。その際、1ページ目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。(様式は任意)</li> </ul> <p>【協議の進め方】 本資料をもとにグループごとに情報共有をした後、教育委員会として求められる取組について協議する。</p>		
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
提出資料	学校行事の見直し(教育的な意義を踏まえた精選、重点化等)の好事例		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せてA4判2ページ以内で提出すること。 ※資料提出にあたって、1ページ目の余白(資料右上)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び、都道府県・指定都市番号を、ページ下部中央にページ番号を記入すること。(様式は任意)		
その他部会当日に手元 用意しておく 持参資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 特別活動編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/1407196_22_1_1_2.pdf">https://www.mext.go.jp/content/1407196_22_1_1_2.pdf</a>
	②	資料名	中学校・高等学校特別活動指導資料
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidouiryou.html">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidouiryou.html</a>

【別紙】高等学校 国語部会 協議①

番号	都道府県市名等	科目	領域
1	北海道	現代の国語	A 話すこと・聞くこと
2	青森県	現代の国語	B 書くこと
3	岩手県	現代の国語	C 読むこと
4	宮城県	言語文化	A 書くこと
5	秋田県	言語文化	B 読むこと（近代以降の文章）
6	山形県	言語文化	B 読むこと（古典）
7	福島県	現代の国語	A 話すこと・聞くこと
8	茨城県	現代の国語	B 書くこと
9	栃木県	現代の国語	C 読むこと
10	群馬県	言語文化	A 書くこと
11	埼玉県	言語文化	B 読むこと（近代以降の文章）
12	千葉県	言語文化	B 読むこと（古典）
13	東京都	現代の国語	A 話すこと・聞くこと
14	神奈川県	現代の国語	B 書くこと
15	新潟県	現代の国語	C 読むこと
16	富山県	言語文化	A 書くこと
17	石川県	言語文化	B 読むこと（近代以降の文章）
18	福井県	言語文化	B 読むこと（古典）
19	山梨県	現代の国語	A 話すこと・聞くこと
20	長野県	現代の国語	B 書くこと
21	岐阜県	現代の国語	C 読むこと
22	静岡県	言語文化	A 書くこと
23	愛知県	言語文化	B 読むこと（近代以降の文章）
24	三重県	言語文化	B 読むこと（古典）
25	滋賀県	現代の国語	A 話すこと・聞くこと
26	京都府	現代の国語	B 書くこと
27	大阪府	現代の国語	C 読むこと
28	兵庫県	言語文化	A 書くこと
29	奈良県	言語文化	B 読むこと（近代以降の文章）
30	和歌山県	言語文化	B 読むこと（古典）
31	鳥取県	現代の国語	A 話すこと・聞くこと
32	島根県	現代の国語	B 書くこと
33	岡山県	現代の国語	C 読むこと
34	広島県	言語文化	A 書くこと
35	山口県	言語文化	B 読むこと（近代以降の文章）

番号	都道府県市名等	科目	領域
36	徳島県	言語文化	B 読むこと（古典）
37	香川県	現代の国語	A 話すこと・聞くこと
38	愛媛県	現代の国語	B 書くこと
39	高知県	現代の国語	C 読むこと
40	福岡県	言語文化	A 書くこと
41	佐賀県	言語文化	B 読むこと（近代以降の文章）
42	長崎県	言語文化	B 読むこと（古典）
43	熊本県	現代の国語	A 話すこと・聞くこと
44	大分県	現代の国語	B 書くこと
45	宮崎県	現代の国語	C 読むこと
46	鹿児島県	言語文化	A 書くこと
47	沖縄県	言語文化	B 読むこと（近代以降の文章）
48	札幌市	言語文化	B 読むこと（古典）
49	仙台市	現代の国語	A 話すこと・聞くこと
50	さいたま市	現代の国語	B 書くこと
51	千葉市	現代の国語	C 読むこと
52	川崎市	言語文化	A 書くこと
53	横浜市	言語文化	B 読むこと（近代以降の文章）
54	相模原市	言語文化	B 読むこと（古典）
55	新潟市	現代の国語	A 話すこと・聞くこと
56	静岡市	現代の国語	B 書くこと
57	浜松市	現代の国語	C 読むこと
58	名古屋市	言語文化	A 書くこと
59	京都市	言語文化	B 読むこと（近代以降の文章）
60	大阪市	言語文化	B 読むこと（古典）
61	堺市	現代の国語	A 話すこと・聞くこと
62	神戸市	現代の国語	B 書くこと
63	岡山市	現代の国語	C 読むこと
64	広島市	言語文化	A 書くこと
65	北九州市	言語文化	B 読むこと（近代以降の文章）
66	福岡市	言語文化	B 読むこと（古典）
67	熊本市	現代の国語	A 話すこと・聞くこと
68	国立・公立大学 法人附属学校	現代の国語	B 書くこと
69	私立学校	現代の国語	C 読むこと